

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 一般-10

学校名・団体名	常陸太田市立幸久小学校
HPアドレス	http://edu.city.hitachiota.ibaraki.jp/school/sakikues/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	大好き幸久，私たちの地域をもっと知ろう
〈活動・研究の意義、目的〉 <p>本校では，総合的な学習の時間など，地域学習に積極的に取り組んでいる。そして，地域と連携した豊かな体験活動を通して，地域への愛着が高まるとともにコミュニケーションを楽しむ子どもが育っている。</p> <p>地域と豊かな自然・文化・地域行事に恵まれているという地域の特色を生かして，子どもたちが主体的に活動できる場を設定できるよう今までの活動を見直し，再検討工夫していく。それにより本校の教育目標「人に温かく，勇気と自信をもって進んで行動できる子どもの育成」の達成を目指していきたいと考え，実施計画を立案した。</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の学習素材の中から，自ら課題を見つけ，自ら学び・考え，主体的に判断しながらよりよく問題を解決できる態度や能力を育成する。・地域への愛着を高めるとともに，進んで地域に関わろうとする態度を育む。・地域の方々とのコミュニケーションを通して豊かな表現力を高める。	

1 活動内容

(1) かわいほうき作り

常陸太田市内には 20 種類を超える在来作物が現存する。しかし、引き継ぐ人もいないまま、地域から姿を消しつつあるのが現状である。地元の有志が「種継人の会」を結成して、これらを次世代につなぐ橋渡し役を担っている。本幸久地区では、100年以上の歴史を誇る「かわいほうき」作りが伝承されている。子どもたちが校内の畑にホウキモロコシの種をまいて栽培、除草、刈り取り、脱穀、乾燥、ほうきづくりの一連の作業を種継ぐ会の人々の指導の下体験した。茎を針金で束ねるのは難しかったが、自分たちが栽培した植物でマイほうきを作ることができたのは大きな喜びであった。



(2) 梵天山古墳調べ学習

本校のすぐ近くに前方後円墳の梵天山古墳がある。現地での調べ学習を通して「ここに生まれてよかった」「近くに住んでいても知らないこともあったので、また調べてみたいと思いました」などの感想をもった。



(3) 久慈川探検

本校の近くを流れる久慈川の水生生物による水質を調べた。指標生物によりこの流域はややきれいな川であることがわかった。また、川にはこんなにも今まで見たこともないたくさんの生物が生息していることに驚いていた。その生物のためにも川をきれいにしていこうという思いを強くもつことができた。

(4) キャンドルナイト

平成 27 年 8 月 23 日 (土) ~ 24 日 (日) にグラウンドに高学年児童が中心になって考えた常陸太田市の施設「西山荘」と菖蒲の花を描いた。ペットボトルキャンドルを約 1000 本使用して浮かび上がったキャンドルを児童と保護者、地域の方で鑑賞した。その後、地域の方と一っしょに手作りのカレーを食べ、子どもたちは学校に泊まり楽しい時間を過ごした。また、PTA、地域の協力により地域の絆を深めることができた。



(5) 三世代ふれあい学習

日頃安全パトロールでお世話になっている地域の方に肩もみのプレゼントをしたり、ベーゴマ、おはじき、はねつき、けん玉、竹馬などの昔遊びをしたりして地域の方と楽しんだ。また、全校群読発表、合奏・合唱発表など学習の成果を発表した。地域の方との交流を通して感謝の心や地域の良さに改めて気づくことができた。



(6)鳥追い

3 学年が総合的な学習の時間の中で、鳥追いについての調べ学習、まゆ玉作り、小屋作り、鳥追いと一連の地域の行事を地域の方に教えてもらいながら体験をした。縄で竹をしぼる、まゆ玉を作るなどの作業に昔の人の知恵のすばらしを改めて気づいた。



2 学習のまとめ

以下が、子どもたちが総合的な学習の時間のまとめとして作った掲示物である。



ふるさと幸久のスクープをさがせ！
～伝統行事「鳥おい」～

1. 調べる ①インターネットや本で調べました。②上河原町会長 内橋美夫さんに、お話をうかがってきました。

2. 体験する ①1/6小屋作り 「カ仕事だよ。」「たぐんの竹やわらしの使ね。」「地域にあるもので作れんかね。」「よろしくね。」「2時間かかったよ。ヤッ、完成！」
②1/12まゆ玉作り 「あついあつい！」「早くめんどかたまつやうよ。」「家と目のバランスを考えてかざらう。」「上の手を丸めて手の中で転がすと、上手にできるよ。」
③鳥追いの夜 「かざりを付けたよ。いい感じ。」「まゆ玉も青空にはえてきれいな。」「風が熱くて、もちを焼くのが大変！」「もちがおいしいね。」「いいよよと点火だよ。」「すてきな音だね。」「燃え尽きるまで5分くらい。あつという間だね。」

3. まとめる ①小屋作りは思っていたより大変でした。竹が束で1人で束つのはなかなかたす。協力してやらないとできないことが分かりました。②インターネットで調べると、いろいろなやり方があることがわかりました。資料を参考に、考えがかりして、作業をこなすことも出来るようになりました。③まゆ玉作りは楽しかったです。作っているうちに、コツが分かりました。④おもしろいと思ったのは、みんなで作ったものっていいなあと思いました。⑤今年も鳥追いをしたことで、みんな健康で、たくさんのお米や野菜ができてよかったと思います。⑥家も家も楽しいです。大人になってもやりたいと思いました。

3 成果等

- (1) 子どもたちに伝統行事を伝えたい、三世代にわたって絆を深めていきたいという地域の方の思いにより、今まで以上に学校と地域との絆が深まった。
- (2) 「自分たちが大人になったら地域の行事をしてあげたい」「今年も米がたくさんとれてみんな元気に過ごせたらいい」など子どもが地域を愛する気持ちが高まってきた。
- (3) 常陸太田市を地域丸ごと博物館「エコミュージアム」として地域のよさを再発見することにつながった。
- (4) 環境を守るためには自分たちには、何が出来るのか、まず出来ることからやっという意識が高まってきた。
- (5) 学校評価では、子どもたちと地域との交流が深まっているという記述が多く見られた。